

# 【講師・パネリストのご紹介】

## 【町永 俊雄 (まちなが としお)】

1947年東京都生まれ。62才。1971年早稲田大学政経学部卒業後、NHK入社。青森、大分、岡山などの赴任地を経て、東京勤務では、「おはようジャーナル」リポーター。土地問題やリゾート開発の問題を取材。NHK特集やNHKスペシャルなどを制作。その後、「おはようジャーナル」「くらしのジャーナル」「教育トウデイ」「BS討論」などの情報番組のキャスター。2004年4月からは「福祉ネットワーク」「ETVワイド・共に生きる」キャスター。「うつ」「認知症」「自殺対策」などを重点として、各地でのシンポジウムなども担当。最近では「NHKスペシャル・セーフティネットクライシス」の三回のシリーズのキャスター。「NHK認知症フォーラム」コーディネーター。「認知症になっても大丈夫・町づくりキャンペーン」推薦委員。

## 【清水 康之 (しみず やすゆき)】

1972年、東京都出身。元NHKディレクター。「クローズアップ現代」を担当。2001年、自死遺児たちを一年がかりで取材して『お父さん、死なないで～親が自殺された子どもたち～』を放送。それまで匿名で活動していた自死遺児の素顔をはじめて社会に伝えた番組は、大きな反響を呼ぶ。その後も、遺児や自殺で亡くなった人の遺書、自殺対策等について取材を続けるが、「推進役」のいない日本の自殺対策に限界を感じて、2004年春にNHKを退職。自らが自殺対策の「つなぎ役」となって活動していくと、同年秋にNPO法人ライフリンクを設立し、代表に就任する。2009年、福島大臣ら政務三役が主導する「自殺対策緊急戦略チーム」メンバーとして内閣府「自殺対策参与」に就任。持論は「自殺対策とは『生きる支援』『いのちへの支援』である」ということ。作家やジャーナリスト、法律の専門家や医療関係者、クリエイターや国会議員等との、幅広い人脈を活かして精力的に活動している。近著：『自殺対策は「政治の責務」 一日100人が自殺する社会への処方箋』（世界と議会 2009年8・9月合併号）など。NPO法人「自殺対策支援センター ライフリンク」代表。内閣府 自殺対策参与（「自殺対策緊急戦略チーム」メンバー）。内閣府「自殺対策推進会議」メンバー。東京都「自殺総合対策東京会議」メンバー

## 【西田 正弘 (にしだ まさひろ)】

福岡県出身。あしなが育英会虹の家課長。12歳の時に父親を交通事故で亡くす。2000年から自死遺児のケアを開始、同年自死遺児たちが編集した文集「自殺っていけない」、2002年「自殺って言えなかった。」の編集に携わる。高校生・大学生の合宿ケア「つどい」を担当。2007年から病氣、災害、自死等で親を亡くした小中学生遺児のケアをするあしながレインボーハウスの担当になる。

# リメンバー福岡 自死遺族の集い 5周年記念講演会 申込用紙

## 福岡市精神保健福祉センター宛 ■FAX:092-737-8827

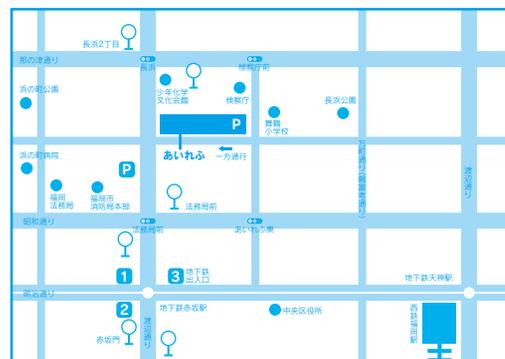
【申込方法】 郵送・FAXで下記宛てへ **1/22(金)**までにお申込みください。

【申込先】 〒810-0073 福岡市中央区舞鶴2-5-1 あいれふ6F

【入場整理券】 先着250名(限定)といたします。後日、**はがきにより入場整理券を送ります。**  
**当日、受付までご持参ください。**

氏名	住所 (※はがきによる入場整理券送付先)	連絡先 (TEL・FAX番号など)	備考 (所属のある方は ご記入ください)
	〒	( ) —	
	〒	( ) —	
	〒	( ) —	

※頂いた個人情報は、本講演会運用のみに使用いたします。 ※はがき(整理券)は、「リメンバー福岡」のみの表記とし、自殺・自死の文字は使いません。



## 【会場】あいれふ(福岡市立婦人会館)10F・あいれふホール

### バスで…

- 西鉄バス「長浜2丁目」バス停から徒歩約1分(那の津通り)
- 西鉄バス「法務局前」バス停から徒歩約3分
- 西鉄バス「赤坂門」バス停から徒歩約4分(明治通り)

### 地下鉄で…

- 地下鉄「赤坂」駅3番出口から徒歩約4分

### お車で…

※駐車場に限りがございます。公共交通機関をご利用ください。

### ■リメンバー福岡 ホームページ■

<http://www.rememberfukuoka.com>

→  で検索